

MCS 税理士法人立川事務所通信

11月号 VOL. 159

MCS 税理士法人立川事務所

〒190-0023

立川市柴崎町 3-11-4 東京ロジテック千代田ビル 4 階

電話：042-595-7671 FAX：042-528-6949

<http://www.mcs-office.jp> mail.info@mcs-office.jp

相続専用 HP：<http://www.souzokushien110.com/>



えんまん

遺言相続支援センター

7月に発表された「世界人口推計2022年版」によれば、世界の人口は今年の11月15日に80億人に達し、来年にはインドが中国を抜いて世界で最も人口が多い国になると予測されています。今この瞬間、世界の至る所で80億人の人たちが日常生活を営んでいると想像すると、改めて世界の平和を祈りたい気持ちです。

知っどこ! 「税」の マメ知識

今月のマメ知識：【金地金を売却したときの税金】

今回は「8年前に購入した金地金を売却したら110万円の儲けが出た」というケースでの「譲渡所得」についてお話しします。譲渡所得とは資産の譲渡による所得をいいます。対象となる資産には土地、建物、ゴルフ会



員権などが含まれます。営利を目的として継続的に金地金の売買をしている場合は譲渡所得ではなく「事業所得」や「雑所得」となりますが、会社員などが持っている金地金を売却した場合は原則、総合課税の譲渡所得となります。これは所有期間が「5年以内である短期」と「5年超である長期」とに分けられます。計算方法は「金地金の譲渡益」と「その年の金地金以外の総合課税の譲渡益」を足したのから「譲渡所得の特別控除」の50万円を引きます。また「短期」の場合は全額が課税の対象になり

「長期」はその2分の1が課税の対象となるという違いもあります。今回のケースは長期なので、110万円から特別控除額の50万円を引いた60万円の2分の1である30万円が譲渡所得の金額となります。

世界の偉人伝

今月の偉人：【L・ダ・ヴィンチ】

レオナルド・ダ・ヴィンチは、ルネサンス期を代表するイタリアの芸術家です。「モナ・リザ」など絵画が有名ですが、彫刻や音楽などの造詣も深く、さらに建築学・解剖学・数学・植物学・天文学などあらゆる分野に興味を抱き、歴史的な功績を数多く残しました。ダ・ヴィンチから学ぶ格言は「沈黙ほど権威を強めるものはない」。研さんを重ねた「万能の天才」だからこそ、沈黙を戦術として使えたのかもしれませんが。声の大きさと主導権を握るより、沈黙で場を制す人物だったのです。

気軽に Let's 英会話

今月のキーワード：【FIRE】

地域によっても異なりますが、消防の通報番号の119番にちなんで毎年11月9日から「秋の火災予防運動」が実施されます。“fire”は「火・火事」の他に「射撃・発砲」の意味もあります。“open fire / hold fire”は「射撃開始 / 射撃中止」のことで刑事ドラマなどでもよく耳にします。“FIRE”と大文字で書かれているのを目にしますが、これは“Financial Independence, Retire Early”の略で「経済的自立と早期退職」のことです。年間支出額の25倍の資産があれば実現可能だそうですよ。



今月のトピック：【背徳グルメ】

高カロリーな食材をこれでもかと掛け合わせた、健康とは真逆の「背徳グルメ」。コロナ禍でたまったストレスの発散や、頑張った自分へのごほうびに幸福感と罪悪感を同時に味わえると人気です。山盛りの見た目のインパクトはSNS映えも特徴のひとつ。飲食店にとっては集客効果も見逃せません。背徳感が経済を回していく姿に注目です。



才人の言葉

どんなに暗くても
星は輝いている

アメリカの思想家・詩人であるラルフ・ワルド・エマーソンの言葉。そして星は、太陽の光や青い空などにより見えただけで、昼間でも輝きながらずっとそこにある。

振り向けばあそこにも「商売のヒント」 ここにも

今月の商売のヒント：【経営の神様の共通点】

「平成の経営の神様」稲盛和夫さんが亡くなりました。そのため「昭和の経営の神様」松下幸之助との共通点に言及した記事をよく目にします。最大の共通点は、経営に「哲学」を持ち込んだこと。この意見には深く納得しました。松下幸之助は「人間探求」と「宇宙の法則」を説き続けました。稲盛さんの経営哲学は、あの有名な「京セラフィロソフィ」です。その基本は「全社員の物心両面の幸福を追求」。経営破綻したJALを再建するために乗り込んだときの「JALフィロソフィ」の冒頭にも、この言葉が書かれていました。これは稲盛さんが実践を通して得た人生哲学であり、根底には「人間として何が正しいか」という問いかけがありました。物事を判断するとき、常に「これは人間として正しいか」を自分に問いかけていたのです。経営者としてはもちろんですが、稲盛さんが唱える「六つの精進」などを読むと、人間力の高さにも圧倒されます。「誰にも



負けない努力をする」「謙虚にしておごらず」「反省のある毎日を送る」「生きていることに感謝する」「善行、利他行を積む」「感性的な悩みをしない」。立派すぎで引け目を感じてしまうほどですが、最も見習いたいところは未来を信じる力です。稲盛さんは常に「私にはすばらしい人生がひらかれている」と思い続けてきたそうです。「非常に単純なことです、自分の未来に希望をいだいて明るく積極的に行動していくことが、仕事や人生をより良くするための第一条件」だと語っていました。つい不平不満を言いたくなるご時世ですが、希望を持ってとにかく行動することは、今この瞬間からできそうです。

トナリの本棚

【島さん】

コンビニで働くおじいさんが主人公の川野ようぶんどうの漫画です。サラッと読めるのにじんわり心が温まるヒューマンドラマ。元気がもらえる一冊です！



衣類に染みついた防虫剤の臭いは気になりません。これを取りたいときは、臭いが付いた洋服をハンガーにかけ、洋服全体にドライヤーの風を優しく当てます。温風でも冷風でもいいですが、ウールに温風を当てると生地が傷むため、ウールの場合は必ず冷風を！

